

COMPASS 発達支援センター大村.NEXT

事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和5年9月20日

公表日：令和6年5月24日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6	1	利用人数に対して適切なスペースを確保しております。また、机の位置を工夫し、学習スペースと活動スペースを分けております。	利用人数に対して適切なスペースは確保できていますが個別での対応が難しくなるため、検討してまいります。
	2 職員の配置数は適切である	7		配置基準以上の職員数を配置し、専門職員も配置しております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているのか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	事業所は床がフラットになっており、活動しやすい環境になっております。	現在は玄関のみ段差があり、職員の配慮が必要であるため、バリアフリーについて検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	5	2	整理整頓や清掃、消毒を心がけ、清潔で心地よく過ごせる環境づくりを心がけております。	福祉目的で建てられた建物でないため配慮が必要な箇所があります。今後、検討してまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDC Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		定期的にリフレクション会議をおこない、職員が意見を出し合う機会を設けております。会議の内容は議事録を作成し、情報共有に努めています。	
	6 保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		定期的にアンケートによる評価を実施しております。いただいたご意見やご要望は、周知と検討をおこない順次改善に努めています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者様向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行つために、研修の機会を確保している	7		事業所内の研修に全職員が参加し、資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		定期的にアセスメントを実施し、保護者様や児童のニーズを探り、また相談支援専門員や関係機関と連携して客観的な視点から計画を立案しております。	
	11 児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		統一されたアセスメントツールを使用し、児童の状況、保護者様のご意向の把握をおこなっております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインに沿って保護者様と面談をおこない、ガイドラインの項目から必要な支援を選択し、支援内容を設定しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		支援計画に基づき、職員間で連携した支援をおこなっています。気づいた点は記録をおこない、情報共有を図っております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		各職員のアイデアや意見を取り入れ、季節や年齢に配慮した活動内容の計画を立案しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		個々の成長や特性に合わせ、固定化しないよう活動プログラムを考えております。	
	16 児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		児童の課題に合わせて個別活動と集団活動の目標設定をおこない、支援計画を作成しております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		支援開始前に送迎、療育などの一日の流れや支援内容、各職員の役割分担の確認をおこなっております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		送迎終了後や翌日の朝に振り返りをおこなっております。また内容を記録することで不在であった職員も情報共有ができるように努めています。	退勤時間や送迎により、その日のうちに打ち合わせは難しいですが、連絡帳を用いて翌日の朝礼で共有を図っております。
	19 日々の支援に關して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		日々、担当した職員が責任をもって記録し、変化が見られた際は情報共有をおこなっております。	
関係機関や保護者様との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングをおこない、計画内容の評価をおこなうとともに、支援計画の見直しをおこなっております。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		担当者会議には児童発達管理責任者が参加しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	関係機関との情報共有をおこない、連携した支援をおこなっております。	
	23 (医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあります。今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24 (医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合) 児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあります。今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（小学校部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		必要に応じて電話連絡や訪問をおこない、情報共有・相互理解を図っております。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学校部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	進学時には児童の状況について電話連絡や訪問をおこない、情報共有・相互理解を図っております。	現在、該当者はございません。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		各関係機関と連携を図り、助言をいただいている	
保護者様への説明責任等	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流などの外部の児童と活動する機会がある	7		今年度は事業所主催での交流の機会はもてませんでしたが、保育所や幼稚園に通う児童も多く、個々で交流があると考えております。	
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		協議会子ども部会へ積極的に参加し、意見交換を行っております。学んだ知識や情報は、児童への支援に繋げております。	
	30 日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳の記入や送迎時に一日の児童の様子についてお伝えをしております。	
	31 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）の支援を行っている	6	1	保護者様からご相談を受けた際には、丁寧に助言やアドバイス等おこなっています。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に児童発達支援管理責任者より丁寧に説明をおこなっています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	7		ガイドラインを遵守したうえで、保護者様のご意向を伺い支援計画を作成しております。保護者様には支援計画の内容を丁寧に説明をおこない、同意を得るよう努めています。	
	34 定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		ご相談があった際には、保護者様や児童に寄り添いながら助言等、対応をおこなっております。	
非常時等の対応	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	5	2	今年度は保護者会等の開催はできておりません。	現在、保護者会は開催しておりません。
	36 子どもや保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		保護者様からご意見をいただいた際には、全職員が情報共有・共通理解のうえ、迅速に対応できる体制を整えております。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7		公式 Web サイトや事業所だよりで情報の発信をおこなっております。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報に関する書類は、鍵付きの書庫にて管理しております。使用や使用後の処理についても細心の注意を払っております。	
	39 障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		それぞれの特性を理解し、わかりやすい情報伝達手段で意思の疎通を図っております。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	地域住民の方を招待する企画運営はできておりません。	地域への発信はほとんど行われておらず。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	7		各種マニュアルを作成し、入口付近に掲示しております。保護者様には契約時に詳しく説明をおこなっており、職員にも周知しております。	
非常時等の対応	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っている	7		非常災害を想定した訓練の年間計画を立て、児童も参加して訓練をおこない、災害に備えています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	7		契約時に必ず確認をおこない、緊急時には全職員が適切に対応できるよう共通理解を図っております。	
	44 食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	契約時に保護者様より詳細な情報をいただき、いたいたい情報は全職員で共有し、共通理解を図っております。	現在、該当者はございません。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットは報告書を作成し、全職員で共有をおこなっております。事例をもとに再発防止に努めています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしている	7		県主催の虐待防止研修には必ず参加し、事業所内研修にて周知しております。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。	

令和
5年度

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。